



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社ジオコード  
代表者名 代表取締役社長 原口 大輔  
(コード番号:7357 東証スタンダード)  
問合せ先 専務取締役 吉田 知史  
(TEL. 03-6274-8081)

連結決算開始に伴う連結業績と個別業績との差異  
及び個別業績の予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）より、従来の個別決算から連結決算に移行いたしました。

これに伴い、本日公表いたしました2026年2月期の連結業績と個別業績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年2月期の個別業績について予想値と実績値との差異についても併せてお知らせいたします。

記

1. 連結決算開始について

当社は、2025年12月9日付「株式会社Triaの株式取得に関する株式譲渡契約締結のお知らせ」にて公表のとおり、2025年12月12日付で株式会社Tria（以下、「Tria」という。）の発行済株式総数の51%を取得し、同社を当社の連結子会社といたしました。

また、2025年12月22日付「合同会社ミニマリスティックの出資持分取得に関する持分譲渡契約締結のお知らせ」にて公表のとおり、2025年12月25日付で合同会社ミニマリスティック（以下、「ミニマリスティック」という。）の出資持分の51%を取得し、同社を当社の連結子会社といたしました。

以上に伴い、当社は2026年2月期より連結決算に移行いたしました。

2. 連結決算開始に伴う2026年2月期の連結業績と個別業績との差異について

(1) 2026年2月期連結業績と個別業績との差異（2025年3月1日～2026年2月28日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 (※)	1株当たり 当期純利益(円) (※)
個別業績 (A)	1,898	69	96	69	24.87
連結業績 (B)	1,893	△7	19	△7	△2.72
増減額 (B-A)	△5	△77	△77	△76	—
増減率 (%)	△0.2	—	—	—	—

※連結業績の当期純利益欄には、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

## (2) 差異の理由

当社は、2026年2月期（以下、「当期」という。）より連結財務諸表の作成を開始しております。当期においては、当社の決算期末である2026年2月末時点で、Tria及びミニマリストティックの支配獲得日を当期末とみなして会計処理を行っております。その結果、連結貸借対照表には両社の個別貸借対照表を取り込んでおりますが、連結損益計算書には両社の損益を反映しておりません。

一方で、Tria株式及びミニマリストティック持分の取得に関連して発生したM&A関連費用については、当社の個別財務諸表においては子会社株式の取得原価に含めて資産として計上しておりますが、連結財務諸表上は取得関連費用として当期の販売費及び一般管理費に計上しております。また、連結グループ内における内部取引についても消去しております。

以上の結果、連結決算初年度の処理として、連結損益計算書における売上高は個別業績と比較して5百万円減少しております。また、内部取引消去に伴う売上総利益の減少に加え、M&A関連費用について連結財務諸表上は取得関連費用として販売費及び一般管理費に計上していることにより、営業利益及び経常利益は77百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は76百万円、それぞれ個別業績と比較して減少しております。

## 3. 個別業績の予想値と実績値との差異について

### (1) 2026年2月期通期個別業績の予想値と実績値との差異（2025年3月1日～2026年2月28日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
予想値 (A)	1,859	30	58	36	13.21
実績値 (B)	1,898	69	96	69	24.87
増減額 (B-A)	39	39	37	32	—
増減率 (%)	2.1%	128.8%	64.5%	88.7%	—
(参考) 前期個別実績 (2025年2月期)	1,582	△25	27	16	6.05

## (2) 差異の理由

2026年2月期の売上高（前期比20.0%増）は、インターネット広告（同42.8%増）及びクラウドセールス（同21.3%増）が引き続き順調に推移したことに加え、AI最適化・SEO・Web開発（同4.9%増）についても新規受注の改善により増収に転じたことから、通期業績予想を上回りました。

営業利益は、積極的な採用活動や販売促進活動の強化等の先行投資を実施したものの、売上高の増加によりこれらを吸収した結果、通期で黒字化するとともに、通期業績予想を上回りました。

経常利益及び当期純利益は、余剰資金を活用した有価証券投資に係る配当収益やカード決済に係るキャッシュバック収益等の営業外収益が増加し、株主優待費用等の営業外費用を吸収した結果、通期業績予想を上回りました。

## 4. 剰余金の配当について

当社は、本日公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」のとおり、2026年2月28日を基準日とする剰余金の配当を実施することといたしました。

(参考) 連結子会社の概要

1. Triaの最近2事業年度の業績推移

(単位：百万円)

決算期	2024年12月期 (10か月間)	2025年12月期
売上高	147	534
営業利益	76	199
経常利益	84	219
当期純利益	53	141

- (\*1) 上記財務数値は、当社の連結決算に含まれておらず、また、会計監査を受けておりません。
- (\*2) Triaは2024年3月設立のため、2024年12月期の会計期間は10か月間となっております。
- (\*3) Webマーケティングに係る一部の売上については、広告媒体（仕入先）に支払う広告媒体費（売上原価）を控除せずに売上高を総額で表示しております。当社においては、当該取引について「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等に基づき売上高を純額で表示していることから、表示方法が相違しております。なお、利益への影響はありません。

2. ミニマリステックの最近4事業年度の業績推移

(単位：百万円)

決算期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	2025年12月期 (7か月間)
売上高	252	435	449	297
営業利益	11	22	42	23
経常利益	11	22	41	23
当期純利益	8	15	28	15

- (\*1) 上記財務数値は、当社の連結決算に含まれておらず、また、会計監査を受けておりません。
- (\*2) 2025年12月期の会計期間は、決算期を変更したため7か月間となっております。
- (\*3) Webマーケティングに係る一部の売上については、広告媒体（仕入先）に支払う広告媒体費（売上原価）を控除せずに売上高を総額で表示しております。当社においては、当該取引について「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等に基づき売上高を純額で表示していることから、表示方法が相違しております。なお、利益への影響はありません。

以上